

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2012年度 第6号/2013年3月9日発行

発行責任者：中島・高山 943-2616

表面：第20回草加子育てのつどい報告

裏面：2012年度第12回子育て団体交流会報告

盛会となりました！「第20回草加子育てのつどい」報告 ～2月24日(日)高砂コミセン・あずま保育園～

第20回草加子育てのつどい実行委員長 中島幸代

今回で20回目を迎える「草加子育てのつどい」は、父母連・市職労保育部会に加え、草加市家庭保育室連絡会・NPO法人さくらんぼ・NPO法人こども広場草加おやこ劇場にも賛同していただき、共催という形で開かせていただきました。

来賓として衆議院議員の黄川田仁志様にご来場いただきました。大人が約120名・子ども約110名と、近年の中で最多の参加者数となりました。保育の先生も、20名協力していただきました。

講演会には黛秋代先生（めだか保育園園長）をお招きし、「自信を持って子育て」をテーマにお話をしていただきました。「見たい・聞きたい・触りたい・なめたいが子どもの全ての欲求。やりながら整理して成長していくもの。」「色んなことをしながら学んでいると理解すれば、子育ては楽になる。」と、子どもの本質について教えていただきました。また、「勉強していないのだから、育児に自信はなくて当然。」「だからこそ、子育てをするために学びあうことが大切。」と、周りとながらあいながら親も学び成長していく必要があることも教えていただきました。

子どもの行動には全て、子どもなりの理由や欲求があるということを、子どもの具体的な事例を交えながらわかりやすくお話していただき、「親の思うように子育てをしていないか？」という問いかけにみなさんも自分の育児を振り返りながら聞き入っていました。以下に来場者の感想をいくつか紹介します。

参加者の皆さんの感想（アンケートより）

・初めての参加、想像以上に子どものついでについて考え、知ることができた。保育して頂いて、ゆっくり話が聞けてよかった。

・「子どもが自分で選択したことはうまくいく」ということ、子育てをしている間ずっと忘れたいと思いませんでした。

・2人子どもがいるが、つい比較してしまうことがあった。もっとそれぞれを尊重したい。

・「親のやることが一方的なことがある」「子どもには理由がある」などヒントになる言葉をもらうことができた。

・毎日自信がないまま子育てしています。学ぶことの大切さがわかった気がします。



あずま保育園では、劇団風の子による「なんかよーかい」が公演されました。よーかいの世界に入っていく、不思議でおもしろい話に子どもたちものめりこんでいました。楽しかった！と好評でした。

パネル展示は、家庭保育室・NPO さくらんぼ・NPO おやこ劇場・冒険広場に加え、今回初めて民間の認可保育園 4 園が参加して下さいました。それぞれの活動を写真等も盛り込んだパネルで紹介しました。民間認可保育園とつながるきっかけともなり、充実した情報提供の場となりました。

ご協力して下さいました方々、参加して下さいました方々、どうもありがとうございました！



2012 年度 第 12 回 子育て団体交流会 報告

草加市保育園父母会連合会会長 高山幸一郎

2 / 2 4 (日) 13:00~14:30 高砂コミュニティセンターにて「第 12 回子育て団体交流会」を父母連として企画・開催いたしました。今回は、「NPO 法人こども広場草加おやこ劇場／草加市家庭保育室連絡会／NPO 法人さくらんぼ／獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター／草加市立保育園保育士／こだま保育園／父母連事務局」の各団体代表者が集まり、各団体の現状と課題などについて、情報交換をしたり、今後の草加市の子育てについて話し合ったりしました。

具体的には、草加市が現在すすめている「草加市子ども教育連携推進計画」についての情報交換を中心としながら、昨今増え続けている発達障がいの子どもにどう対応していくか、児童虐待や相談支援について等、草加の子育ての現状と課題について活発な議論が行われました。また各団体から異口同音に「子どもたちの経験の少なさ」「保護者の子育て支援・子育て相談の必要性」があげられていました。私たち父母連としても、草加市内の子育て団体とより緊密な連携をしながら、こうした課題に取り組んでいきたいとの思いを新たにしました。

今回の交流会を通して、子育て団体同士の情報共有の大切さを実感するとともに、父母連としても、今後も草加市全体の子育てを大きく視野に入れた、よりよい子育て環境の整備を模索していくことの大切さを感じました。

